

JAOS SPARE TIRE BRACKET Installation Instructions

Vehicle Application
SUZUKI JIMNY JB64 (18.07-)

このたびはJAOS スペアタイヤブラケットをお買い上げいただきありがとうございます。

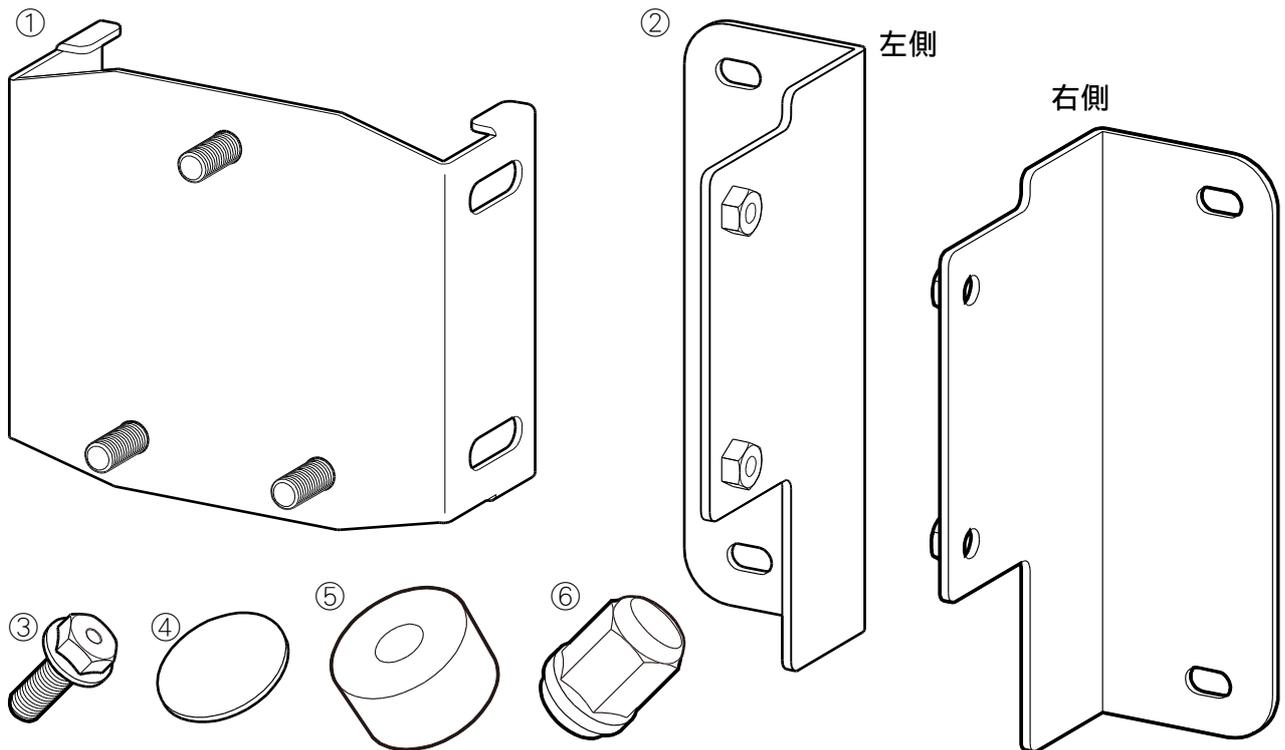
本書はスペアタイヤブラケットを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間 INSTALLATION TIME		約0.5時間 0.5-hours	必要工具 TOOL ボックスレンチ(HEX14) メガネレンチ(HEX14) ホイールレンチ(HEX19) トルクレンチ
作業難度 SKILL LEVEL	① パーツ交換/取付 Easy ② 車体加工あり Moderately Easy ③ 専門知識が必要 Moderately Difficult ④ 分解整備 Difficult		

構成部品



構成部品名称 DESCRIPTION	数量 QTY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 QTY
① ブラケットA BRACKET A	1	④ 両面テープ DOUBLE COATED TAPE	2
② ブラケットB 左右 BRACKET B LH / RH	各1 _(ea.)	⑤ 制振ゴム DAMPING RUBBER	2
③ フランジボルト-M10-20 HEX. FLANGE BOLT M10-20	4	⑥ ラグナット LUG NUTS	3

取り扱い上のご注意

この取扱要領書で使用している表示の意味と内容

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。

安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
●製品は丁寧に扱ってください。
●作業に適した服装で作業を行ってください。

取り付けについて

-  **警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
●薬品などの付着に注意してください。
●路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
●商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対する回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
●商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

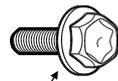
 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy



取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー、●数字は作業の順番を示しています。

1. 純正部品を取り外します



純正ボルト4本は再使用します

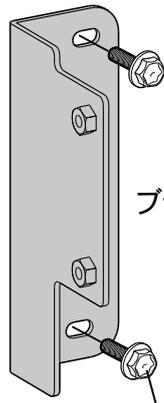
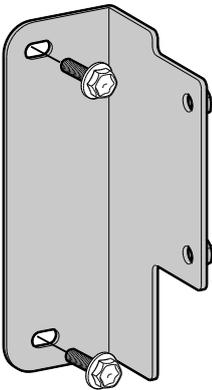


・ハッチパネルから図の純正部品を取り外します。

アドバイス 純正スペアタイヤブラケットを固定している純正ボルト4本は再使用します。

2. ブラケットBをバックドアに仮固定します

ブラケットB②左



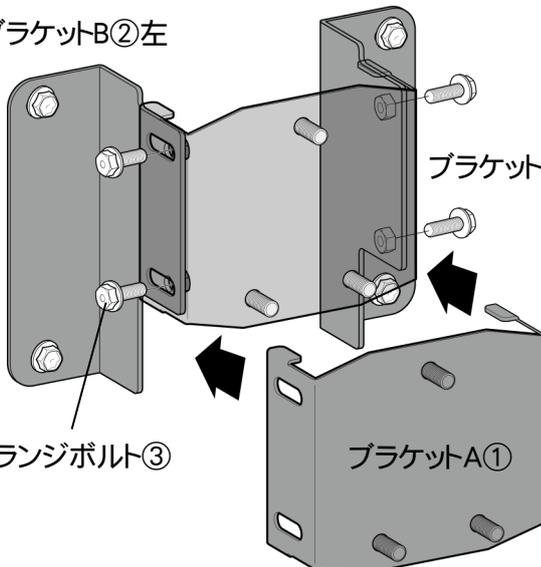
ブラケットB②右

純正ボルト

・バックドアの純正スペアタイヤブラケット取り付け穴に、ブラケットB②を純正ボルトで仮固定します。

3. ブラケットAをブラケットBに仮組みします

ブラケットB②左



ブラケットB②右

フランジボルト③

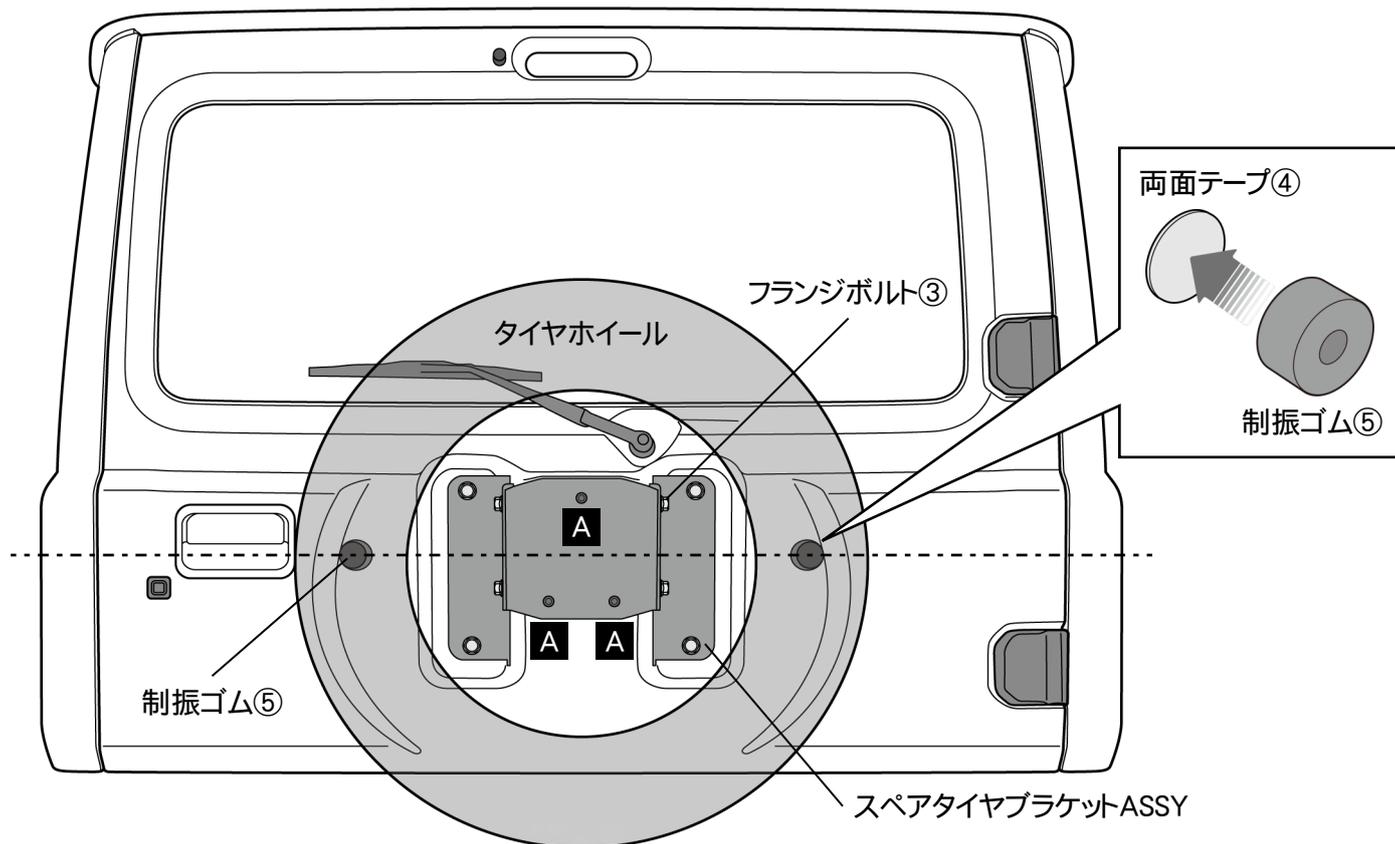
ブラケットA①

・図のようにブラケットA①をブラケットB②左右の外側にかぶせ、フランジボルト③で仮組みします。

・組み付け状態を確かめ、ブラケットB②左右をバックドアに固定している純正ボルトを本締めします。

[推奨締め付けトルク] 68 N・m

4.制振ゴムを取り付けます



- ・ブラケットA①にタイヤホイールをラグナット⑥で仮組みします。
- ・タイヤのサイドウォール(一番出っ張っている部分)に制振ゴムを貼り付けるため、位置を確かめマーキングします。
- ・一旦、タイヤホイールを外します。

アドバイス スペアタイヤホイールを外す際にブラケットA①が前後方向に動かないよう注意してください。

- ・マーキングした位置に両面テープ④を貼り、そのうえに制振ゴム⑤を貼り付け固定します。

アドバイス 制振ゴム⑤の貼り付け位置はスペアタイヤブラケットASSYの中心(破線部)を基準に、上下左右が均等になるよう調整し貼り付けてください。

- ・ブラケットA①とブラケットB②を組み付けているフランジボルト③を本締めします。[推奨締め付けトルク] 11~15 N・m
- ・タイヤホイールを取り付け、**A**部をラグナット⑥で固定します。[推奨締め付けトルク] 110~120 N・m

装着状態の確認

注意 装着後には必ず取り付け確認を行ってください。

ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。

- ・全体の組み付けが完了したら本体を揺さぶり、異音がないことを確認します。
- ・各ボルトをもう一度締め付け、増し締めされていることを確認します。
- ・部分的に無理なテンションがかかっていないことを確認します。
- ・左右で取り付け位置がずれていないことを確認します。